

令和5年度6月補正予算案における 物価高騰に対する取組

令和5年6月
和歌山県

物価高騰に対する取組

【6月補正予算:58.5億円】

臨時交付金等を活用し、物価高騰の影響を受ける県民（生活者・事業者）を支援

（１）エネルギー・原材料・食料等高騰対策 47.2 億円

- 国の料金激変緩和措置の対象とならないLPガス・特別高圧電力利用者の負担軽減
- 地域を支える交通・運送事業者の燃料費等に対する支援
（バス・タクシー・鉄道・フェリー・トラック）
- 生活衛生関係施設（一般公衆浴場・クリーニング所）の燃料費に対する支援
- 福祉施設、医療機関等の光熱費等に対する支援
- 農林水産業者への燃料・肥料・飼料等に対する支援

（２）生産性向上に向けた取組支援 9.5 億円

- 中小企業者及び農林業者等の生産性向上に繋がる機械や設備の導入等を支援

（３）生活の支援 1.8 億円

- 物価高騰の影響を特に受ける子育て世帯を支援

紀州材生産力高度化支援

【当初予算: 200,000千円】

【6月補正予算: 354,797千円】

林業者・製材業者に対して燃費効率や生産効率の高い機械や設備の導入を支援することで、燃料費高騰による**負担を軽減**するとともに**紀州材の供給量増加**を図る

新規

林業（原木生産）
3億1053万円



《補助対象》
《補助率》
《補助上限》

燃費または生産性の向上に資する機械
1/3
5000万円/事業者

増額・拡充

製材業
2億4427万円



+

さらに、インセンティブ枠の創設（補助率の嵩上げ）

林業

素材生産量を年間1,400m³以上増加させる
事業者には補助率を1/2に引上げ

製材業

国産材製材品出荷量を年間1,250m³以上増
加させる事業者には補助率を1/2に引上げ

どこにも子供食堂プラン

(和歌山子供食堂支援)

【6月補正予算：40,000千円】

物価高騰の影響を受ける子育て世帯の負担を軽減するため
子供食堂の**新規開設**及び**地域コミュニティ機能の強化**を支援



① 新規開設に対する重点支援

既存の50箇所に加えて、**今後3年間で全ての小学校区（約200）に子供食堂が設置されることを目指し、新規開設に係る経費の全額を県が負担**（※）

② 地域コミュニティ機能の強化を支援

食事提供のみならず**地域コミュニティとしての機能**を備えた子供食堂を増やしていくため、**学習支援・多世代交流のための備品購入に係る経費の全額を県が負担**（※）

（※）対象、上限については下記概要の通り

【補助金概要】

区分	対象	補助率	上限
新規開設支援	設備の購入・改修	10/10	40万円
	学習支援・多世代交流のための備品購入		20万円
既存施設の機能強化	学習支援・多世代交流のための備品購入		20万円